

環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野  
(地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)

## 平成 26 年度事業の実施計画

### 1. 実証機関業務実施の基本方針

実証機関業務を遂行するに際しては、次の事を基本方針とする。

- (1) 実証対象技術の環境保全効果に対する性能を適切に実証する。
  - ①特にヒートアイランド抑制効果、熱的性能、エネルギー効率等について、適切に実証する。
  - ②実証対象技術は多様性に富んでいるので、個別の実証対象技術の実情に応じて適切な試験を行う。
- (2) 事業の公平・公正、客観性の確保に努める。
  - ①国の行う事業の実証機関として、法令を遵守して、公平・公正、客観性を保つ。
  - ②技術実証検討会、同分科会の助言を得て、試験の公平・公正、客観性を保つ。
- (3) 実証試験の学術的・技術的妥当性の確保に努める。

技術実証検討会、技術実証検討会分科会の助言を得て、試験の学術的・技術的な妥当性を確保する。
- (4) 本技術分野の技術の普及促進を図る。
  - ①実証試験結果報告書、実証試験要領改定の素案は、分かりやすい表現、記述、解説に努める。
  - ②様々な機会をとらえて、環境技術実証事業と本技術分野の広報宣伝に努める。

特に当協会が参加する展示会（年 10 回程度）、当協会主催のシンポジウム・地中熱講座等において広報宣伝に努める。また、マスコミなども活用して、本技術分野の普及促進に努める。
- (5) 業務の実施に当たっては、環境省、実証運営機関と十分な連絡調整を行う。
- (6) 実証運営機関が実施する環境技術実証事業の広報・普及啓発業務等に連携・協力する。
- (7) 情報セキュリティーを確保する。

## 2. 年間スケジュール案

平成26年度 ETV地中熱 実証機関の年間スケジュール		2014.7.9. 地中熱利用促進協会											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業スケジュール													
	募集要領作成												
	6.12～6.27 募集 選定資料作成												
	試験準備、計画作成												
	試験実施												
	報告書作成												
	報告書修正、納品												
委員会													
	★7.14 第1回検討会(案件選定、計画審議)												
	★第1回分科会(現地視察、追加申請選定)												
	★第2回分科会(中間報告、追加申請選定)												
	★第3回分科会(中間報告、報告書素案、要領改訂)												
	★第2回検討会(報告書、要領)												
運営機関の行事への参加													
	★7.4 第1回運営委員会												
	☆学芸会等の発表												
	☆シンポジウム発表												
	☆実証機関協議会												
	☆第2回運営委員会												
	☆第3回運営委員会 (実証機関選定)												

☆は時期が不明なもの。